



2019年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年1月7日

上場会社名 株式会社アオキスーパー 上場取引所 東
 コード番号 9977 URL <http://www.aokisuper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 俊道
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼開発部長 (氏名) 黒澤 淳史 (TEL) 052(414)3600
 四半期報告書提出予定日 2019年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第3四半期の業績(2018年3月1日~2018年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第3四半期	79,049	0.5	1,129	△12.2	1,187	△11.7	707	△11.4
2018年2月期第3四半期	78,678	△0.3	1,287	△28.0	1,344	△27.2	798	△24.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年2月期第3四半期	123.73		122.94					
2018年2月期第3四半期	141.08		139.77					

(注) 当社は2018年9月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株に併合しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第3四半期	29,251	19,193	65.4
2018年2月期	27,924	18,790	67.1

(参考) 自己資本 2019年2月期第3四半期 19,141百万円 2018年2月期 18,733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年2月期	—	15.00	—	—	—
2019年2月期(予想)	—	—	—	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2018年9月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株に併合しております。2019年2月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2019年2月期の業績予想(2018年3月1日~2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,600	0.4	1,900	3.0	1,970	2.2	1,100	15.1	192.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年2月期3Q	6,250,000株	2018年2月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	2019年2月期3Q	522,240株	2018年2月期	539,745株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年2月期3Q	5,719,305株	2018年2月期3Q	5,658,060株

(注) 当社は2018年9月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株に併合しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合について)

当社は、2018年5月24日開催の第44回定時株主総会において、株式併合について承認可決されたことから、2018年9月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株に併合しております。

なお、株式併合を考慮しない場合の2019年2月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

- (1) 2019年2月期の配当予想 1株当たり配当金期末 15.00円
- (2) 2019年2月期の業績予想 1株当たり当期純利益通期 96.13円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加により景気は緩やかな回復が続きました。また、個人消費は、消費者物価の上昇テンポに鈍化がみられるものの、持ち直し基調で推移した一方、低価格志向などの生活防衛意識も依然として根強い状況が続きました。先行きにつきましては、各種政策の効果や雇用・所得環境の改善等により、引き続き緩やかな景気の回復が続くことが期待されております。しかしながら、通商問題の動向、為替・金融資本市場の動向や海外経済の不確実性に留意が必要な状況となっております。

このような状況におきまして当社は、3月に一宮店・10月に熱田店をリニューアルオープンし、建替えのため6月より長期休業しておりました植田店を11月にオープンいたしました。また、新設店として9月にららぽーとみなとアクルス店を当社初となる大規模商業施設内にテナントとしてオープンいたしました。

販売促進企画として、ポイントカードの新規会員募集やお買物券プレゼント、お客様を対象とした食品メーカーとの共同企画によるIHクッキング教室(本社ビル3F)の開催を引き続き実施いたしました。また、競合店対策のため、恒例となりました四半期に一度の大感謝祭・週に一度の日曜朝市及び95円(本体価格)均一等の企画を継続実施いたしました。

しかしながら、当流通業界におきましては、食品の取扱比率を高めているドラッグストアや同業店舗間の競争激化に加え、地震や豪雨・台風などの自然災害の影響、また、急激な労働需給の引き締めなど、厳しい経営環境が続きました。

以上の結果、当第3四半期は、営業収益790億49百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益11億29百万円(前年同期比12.2%減)、経常利益11億87百万円(前年同期比11.7%減)、四半期純利益7億7百万円(前年同期比11.4%減)と増収減益となりました。

なお、当社は、食料品を中心に生活関連用品等の販売を主体とする事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前事業年度に比べ、7億円増加し、118億63百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度に比べ、6億26百万円増加し、173億88百万円となりました。これは主に、店舗の設備投資によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度に比べ、13億27百万円増加し、292億51百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前事業年度に比べ、9億6百万円増加し、81億18百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度に比べ、17百万円増加し、19億39百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度に比べ、9億23百万円増加し、100億58百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前事業年度に比べ、4億3百万円増加し、191億93百万円となりました。

また、自己資本比率は、前事業年度に比べ、1.7ポイント減少いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月期の通期業績予想につきましては、前回(2018年4月13日)公表の業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,951	9,490
売掛金	1	0
商品	1,475	1,657
貯蔵品	26	26
その他	708	687
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,162	11,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,809	7,233
土地	4,039	4,077
その他(純額)	1,168	1,350
有形固定資産合計	12,017	12,662
無形固定資産	307	288
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,136	3,086
その他	1,347	1,398
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	4,436	4,438
固定資産合計	16,761	17,388
資産合計	27,924	29,251
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,470	5,666
未払法人税等	183	208
賞与引当金	182	358
ポイント引当金	248	265
その他	1,127	1,620
流動負債合計	7,211	8,118
固定負債		
退職給付引当金	578	627
環境対策引当金	94	94
長期預り保証金	867	819
資産除去債務	371	388
その他	11	9
固定負債合計	1,922	1,939
負債合計	9,134	10,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,372	1,372
資本剰余金	1,705	1,719
利益剰余金	16,586	16,950
自己株式	△930	△901
株主資本合計	18,733	19,141
新株予約権	56	52
純資産合計	18,790	19,193
負債純資産合計	27,924	29,251

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)
売上高	75,128	75,210
売上原価	64,316	64,097
売上総利益	10,811	11,112
その他の営業収入	3,550	3,838
営業総利益	14,362	14,951
販売費及び一般管理費	13,075	13,821
営業利益	1,287	1,129
営業外収益		
受取利息	21	20
その他	39	39
営業外収益合計	60	59
営業外費用		
支払利息	0	0
収納差金	2	1
営業外費用合計	3	2
経常利益	1,344	1,187
特別利益		
固定資産売却益	0	—
新株予約権戻入益	0	0
補助金収入	—	3
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産除却損	81	102
その他	0	—
特別損失合計	81	102
税引前四半期純利益	1,262	1,088
法人税、住民税及び事業税	461	466
法人税等調整額	2	△85
法人税等合計	464	381
四半期純利益	798	707

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。